

エクステンジプログラム報告書

1. 被招へい者（被派遣者）全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先

佐藤修二 名古屋大学理学研究科 教授

2012年5月28日（月）～6月6日（水） 9泊10日

2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分

Chen Wen Ping 国立中央大学 教授

3. 招へい（派遣）の目的（200字程度）

過去2回（2010年6月／2011年2月）の訪問において、観測装置：3色（g' r' i'）偏光カメラ TRIPOL の提案を行い、2011年末に鹿林天文台 1m 望遠鏡の共用装置として TRIPOL-2 の製作することを合意した。

2012年1月から3月までの3ヶ月で製作して、5月18日に NCU に向けて出荷した。今回訪問の目的は、それを鹿林天文台に搭載して性能を実証することである。

4. 成果報告（用紙が不足の場合は足してください）

(1) 5月28,29,30日 TRIPOL-2 の室内実験

(2) 6月01日 鹿林天文台へ出張（所要時間5時間）

(3) 6月02~04日 鹿林天文台にて搭載、試験観測

(4) 6月06日 国立中央大学においてチェン教授と禅野氏と3者で、
TRIPOL-2 の今後の運用について議論

我々の観測（3夜）以降も引き続き、技術者や大学院生が観測を続けることになる。

6月4/5日に撮られた一連のデータ（その一部添付）は、一定の性能を約束するものであり、2年間（2010年6月～2012年6月）にわたった鹿林 TRIPOL-2 プロジェクトは、今後、NCU による具体的な科学成果の段階に入ることになる。

今後の予定（合意事項）として

- 1) 観測継続 7月（10夜）、8月（10夜）、 Classical Be 星および GM Cep 他
- 2) 8月末 国際天文学会@北京にて 口頭報告（by Prof. Chen）
- 3) 装置に関する論文を学術誌 PASP に投稿 ドラフト（8月末）=>投稿（10月）

These are some of the first-light images of TRIPOL taken on June 4/5, 2012 by the LOT. The source at the center is a polarized standard star Hiltner 960 in (top to bottom) *g*, *r*, and *i* filter, respectively. Observers: HY Hsiao, CD Lee, CH Lee, CC Lin, and Bohe Su

